

「戦争への道」許さず、秘密保護法廃止を！

—宮澤弘幸 追悼・顕彰 2.22のつどい—

太平洋戦争が始まった73年前の1941年12月8日、北海道札幌で当時北海道帝国大学（現・北大）の学生であった宮澤弘幸さんは、軍機保護法違反の容疑で検挙され、本人否認のまま有罪判決を受けて網走刑務所に送られました。戦後釈放されたものの、衰弱した身体は健康を蝕まれ1947年2月22日、27歳の若さで死去しました。

そして現代。特定秘密保護法が牙を剥こうとしています。同じ過ちを繰り返させてはならないと、私たちは秘密保護法阻止の運動に取り組んでき

ましたが、2013年12月6日、自公政権は強行採決を行い成立しました。それでも私たちはこの悪法を葬り去るため、全国の仲間たちと連携をとりながら運動をすすめています。

その一環として、宮澤弘幸さんの命日に菩提寺である新宿の常圓寺で、宮澤弘幸さんの不屈の精神を追悼・顕彰し、秘密保護法を廃止させる決意を再確認するための集いを開催します。ぜひご参加を。

▼とき／2015年2月22日（日）14:00～16:00

▼会場／新宿・常圓寺（地図裏面参照）

▼つどいの内容

- ・NHK制作『兄はスパイじゃない』DVD上映
- ・特別講演「秘密保護法が与える市民生活の影響—あくまでも廃止を求めて」
清水 雅彦 日体大教授
- ・「心の会の碑」（仮称）建立について
山本 玉樹 代表
- ・「戦争への道」を許すな！
山野井孝有 代表
- ・アピール採択

清水雅彦 日体大教授プロフィール

1966年兵庫県生まれ。明治大学大学院法学研究科博士後期課程、札幌学院大学法学部教授などを経て、現職。日本民主法律家協会常任理事、戦争をさせない1000人委員会事務局長代行。主な著書に、『治安政策としての「安全・安心まちづくり」』（社会評論社）、『憲法を変えて「戦争のボタン」を押しますか？』（高文研）、『すぐにわかる集団的自衛権ってなに？』（共著、七つ森書館）、『秘密保護法から「戦争する国」へ』（編著、旬報社）など。



■主催・北大生・宮澤弘幸「スパイ冤罪事件」の真相を広める会

ホームページ／<http://miyazawa-lane.com/introduction.html>

<連絡先・03- 3264-2905(千代田区労協気付) メール:chada-kr@f8.dion.ne.jp>

常圓寺 (新宿駅西口) 新宿区西新宿 7-12-5 TEL03-3371-1797

